

オンライン決算説明会 質疑応答要旨
(2026 年 9 月期 第 3 四半期 2026 年 8 月 7 日開催)

Q1：自治体向け「ルナルナみらいサポート」への投資について、来期の考え方を教えてください。導入自治体が増えれば、投資も拡大する可能性があると考えてよいでしょうか。また、将来的な収益化の取り組みについて教えてください。

A1：「ルナルナみらいサポート」は、自治体の導入決定後、当社が住民への利用促進のための広告を行うことで費用が発生する構造となっています。現在、8 県に導入されていますが、今後、導入自治体数を極端に増やしていくことは考えておりません。複数の県での実績や効果を踏まえて今後導入を希望する自治体が現れた場合には、一定期間の無料提供を設ける場合もありますが、基本的には有料サービスとして展開していく考えです。

また、導入自治体有料で利用する場合には単なるアプリの利用にとどまらず、各自治体が取り組むプレコンセプションケア（※）支援の中で「ルナルナみらいサポート」を活用いただく形を想定しています。

（※）性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン（将来設計）や将来の健康を考えて健康管理を行うこと

Q2：薬局 DX（次世代型クラウドレセコン）の開発状況と今後の考え方について教えてください。今期の開発費の多くは次世代型クラウドレセコンに係るものと理解してよいでしょうか。また、来期の開発費の方向性について、次世代型クラウドレセコンの開発が進めば、開発費は圧縮されると考えてよいでしょうか。

A2：次世代型クラウドレセコンについては、8 月に概ね開発を完了し、現在は協力店舗において実証的な先行導入を行っています。9 月から実際の業務で利用を開始する予定であり、特段の問題がなければ 10 月から本格的にリリースする予定です。

主要な開発はほぼ完了していますが、いくつかの追加機能については、来期の上期頃まで開発が続く可能性があり、それ以降は大規模な開発費が発生することは想定していません。

AI に対応したクラウドレセコンへのニーズが高まっていることを受け、当初は来期まで開発予定であったものを前倒しして開発を進めてきました。そのため、次世代型クラウドレセコンの開発が一巡した後は、開発費は全体として圧縮されていくと考えています。

以上